

やまびこネットワーク20年の歩み

～成果と課題を未来へ～

あいさつでつなごう
地域のきずな

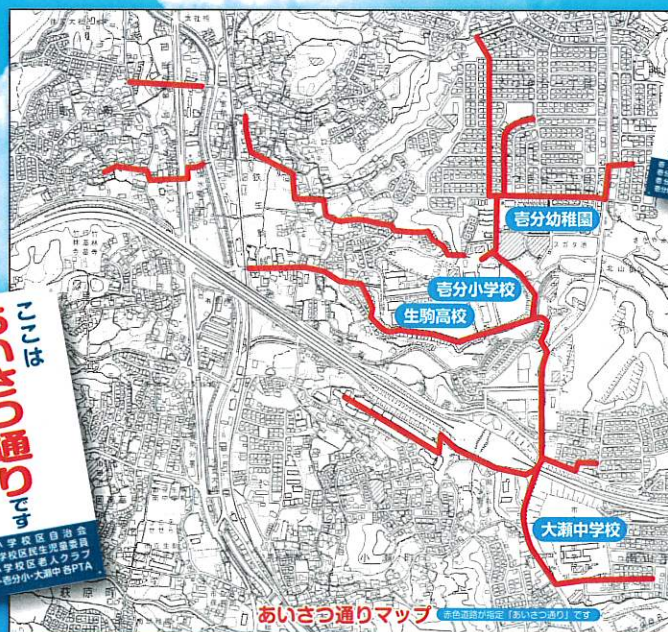
こんにちは 

「やまびこネットワーク」ができました

あいさつは、人権が尊重された人に優しい街づくりの原点です。

“あいさつを通して子育てを、あいさつを通して防犯を、あいさつを通して地域のきずなを……”そんな思いを共有して「やまびこネットワーク」が吉分小学校区に生まれました。

あいさつは、「してあげるもの、してもらうもの」ではありません。先ず、今の自分にありがとう。そして家族へ、そして隣近所へとあいさつの輪を広げましょう。



やまびこネットワーク構成団体(4月現在)

吉分小学校区自治会・民生委員児童委員・老人クラブ
吉分幼稚園PTA・吉分小学校PTA・大瀬中学校PTA

もくじ

❀ 発刊に当たって P 1

❀ あいさつはまちづくりの原点 P 2～P 3

あいさつから生まれる地域の絆

❀ 地域のつながりを求めて総合防災訓練 P 4～P 5

❀ 子育て支援活動 P 6～P 7

冬の子どもフェスタ・雪遊び

❀ 子育て・まちづくりワークショップ P 8

今後の活動にむけて

❀ 地域での諸活動 P 9

グラウンドゴルフ大会・農作業体験

手作り蒸気機関車試乗体験・落ち葉で秋を体験

落ち葉で秋を体感

❀ 地域とつながる園児・児童 P 10

❀ 表彰状・感謝状を授与 P 11

文部科学大臣・奈良県教育委員会・生駒市

❀ 資 料 P 12～P 17

中間総括と活動のあゆみ

発刊に当たって

地域と学校園が協働して、子どもを守り育てる一つの活動として「あいさつ運動」を提唱して20年が経ちました。

この間、幾多の課題に直面しながらも、今日まで続けてこられたことは、提起した運動課題が広く市民に共感・理解された賜物と深く感謝しています。

しかし、昨今の少子高齢化、高度情報社会が急速に進む中、人と社会、人との絆が薄れまちづくり全体に大きな影を落としています。こうした今日的な課題に直面するとき、改めて、あいさつの持つ意義の大きさに気づかされます。

そこで、今回やまびこネットワークの諸活動を振り返りながら、未来の「子育て・まちづくり」を再構築する‘きっかけ’となることを願って20年間の歩みを広報機関紙「こんにちわ」からまとめました。

「やまびこネットワーク」の目指すもの

■ 基本目標
人権が尊重された安心・安全が
実感できるまちづくり

■ まちの具体像

「あいさつ」のどきかうまち
■ あいさつは、まちづくりの原点です
● 自分にあいさつ
● 家族にあいさつ
● みんなにあいさつ

「えがお」あふれる健康なまち
■ えがおは健康であたたかなまちの象徴です
● 子どもの歓声とえがお
● 高齢者の喜びとえがお
● みんなの活力ある元氣なえがお

「つながり」と「ささえあい」のまち
■ つながりとささえあいは、安心、安全なまちの基本です
● 家族のつながりとささえあい
● 向こう三軒両隣り・裏隣りのつながりとささえあい
● 地域のつながりとささえあい

■ 本年度予定している主な事業
● グラウンドゴルフ大会 ● 総合防災訓練 ● ゆきあそび
● いこいこまつり（実行委員会に加入）
※いこいこまつり等、詳細が決まりましたらお知らせいたします

■ 毎月8日は「ニコニコあいさつデー」

あいさつ通りの活動
● 9/8木 ● 11/8火 ● 12/8木 ● 2/8水 ● 3/8水
（小・中学生対象 7:45～8:15 幼稚園対象 8:30～9:00）

一分駅周辺及び中村屋、しまむら各店頭での活動
● 10/8土 ● 1/8日
（16:00～17:00→ディッシュ配布）

あいさつの後、何か一言つけ加えましょう
～「あいさつ+1（ワン）」運動展開中です～

やまびこネットワーク・これからの活動方針

気持ちを添えて一言
あいさつ+1運動

毎月8日は「ニコニコあいさつデー」

あいさつ運動は、活動の提起以来4年目を迎えます。
今日まで、あいさつ通りを中心に、毎月第一火曜日を「統一行動日」として子どもの登校時間帯を中心に活動してきましたが、これからは、毎月8日を「ニコニコあいさつデー」と名称を変更し「あいさつ+1」運動を展開することになりました。
「あいさつ+1」運動とは、「おはようございます」「こんにちわ」の後に、「お出かけですか、お気をつけて…」等々、何か一言付け加えようとする運動です。
ねらいは、言うまでもなくよりよい豊かな人間関係の築きです。
それにともなって、あいさつ運動の重点を子どもから、大人へと順次上げていきたいと思えます。

● 朝、先ず自分にあいさつ（自分への感謝）
● そして、家族へ（家族への感謝・さすな）
● そして、隣近所・地域へ（地域への連携・連帯）
以上、今まで提起してきたあいさつ運動の三段階をゆくりと確実に登りつめていきたいと思います。
その先に、やまびこネットワークが目指す「人権が尊重された、安心・安全が実感できる街」ができることを信じて……。

あいさつ通りは「教室」です！

やまびこネットワークがあいさつ運動を始めて17年、当初は「大人の姿を子どもたちに示そう」とから出発しました。
しかし、今では子どもたちの元気なあいさつに大人が学ばねばならないようになりました。子どもたちは確かにすくすくと育っています。
一方、コロナ禍、開校の扉しを求めて空を飛び回っている子どもたち、2月19日、毎日新聞に掲載された「……前巻、新型コロナウイルス感染症防止で一斉休校になったが、再び起きないように願っている。通学路を歩き登校することは地域の人と関わりを持つ大切な機会であり、授業だけでなくそこにも学びがある……」と指摘されています。
これからは、あいさつ通りが、子育ての場として、そして地域社会の交流の場として、つながりの街づくりの重要な拠点となることを願っています。

- 3 -

総合防災訓練

2015年1月15日 №10 発行 やまびこネットワーク

地域のつながりを求めて 総合防災訓練実施

平成27年1月25日(日) 雨天決行

1 8:00~9:00 各家庭と自治会の取り組み

- 各家庭での安全点検活動
- 各自治会の避難場所及び避難経路の確認

2 9:00~12:00 各分小学校での総合訓練



- 消防車による放水と消火訓練
- AEDを使った人命救助訓練
- バケツを使っでの消火訓練
- 小型消火器を使った訓練

●参加希望者は自治会長さんまで申し込み下さい。
●雨天の場合は、体育館での訓練となります。また、晴天でも気象条件によっては訓練内容を変更することがあります。但し、午前7時現在生駒市に「警報」が発令されていた場合は中止。
●体育館内にシートを敷きますがスリッパはありません。各自でご用意下さい。
●お茶(水)の必要な方は各自でお願いします。
●その他、詳しいことは、自治会長さんにお尋ね下さい。
●参加者(全員)には参加記念品として、クリアファイル、笛、マスクをお渡しします。

主催 やまびこネットワーク・生駒市
協力団体 各分小学校 消防団 健康づくり推進員

「支え合い・つながり」の大切さを実感!



参加者445名! 運動場に集合

2015年3月1日 №11 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつなごう 地域のきずな こんにちはわ

総合防災訓練

地域のつながりを求めて445名が参加

真冬、心配された天候も小春日和を思わせる好天に恵まれて防災訓練を無事開催することができました。
当日は、やまびこネットワークの構成団体の他に、生駒市消防署(消防団)、各分小学校、同PTA、健康づくり推進委員さんの協力のもと、445名の参加を得て盛況に終わることができました。この訓練を契機に「天災は忘れたころにやってくる」「備えあれば憂いなし」等の名言をしっかりと胸に刻み込んで、安心・安全が実感できる街づくりを更に進めていきましょう。

参加者の声(つぶやき)

- このような訓練は、必要ですね。今日は大変いい経験をさせていただきました。
- てんぷら油に火がはいた時の消火方法、油圧がわかりました。とても参考になりました。あの小型消火器(スプレー式)はどこで売っているのですか?
- 豚汁もアルファ米も、おいしかったです。作ってくれた方に感謝、感謝。
- やまびこネットワークの「あいさつ運動」は知っていましたが、こうした防災訓練もして下さるんですね。
- AEDの訓練、はじめて体験しましたが実際にそのような場に直面した時、とっさに使えるのかどうか心配です、今のところ自信がありません。
- 消防車の放水訓練、「かっこよかった!」

新聞もとりあげてくれました



平成27年1月29日付奈良新聞

2016年3月15日 №15 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつなごう 地域のきずな こんにちはわ

“強烈な寒波と強風”の中! 総合防災訓練&雪あそび

テントが吹き飛ばされそうな強風と寒波の中、午前中の総合防災訓練には502名、午後と翌日の雪あそびには、686名の参加を得て、両事業とも“大盛況”に終わることができました。
開催に当たり、ご支援ご協力いただきました多くの関係者に厚く御礼申し上げます。



総合防災訓練 日頃の防災意識の大切さを実感

主催 やまびこネットワーク・生駒市
協力団体 各分幼稚園 各分小学校 消防団 健康づくり推進員

台風や大雨に備える

非常用

- リュックザック
- 飲料水
- 乾パンやクラッカーなど
- レトルト食品、缶詰
- 粉ミルク、哺乳ビンなど
- 医薬品等
- 救急医薬品
- 常備薬
- マスク
- 紙おむつ
- 生理用品
- 貴重品、お金
- 現金(小銭も)
- 現金通帳など
- 健康保険証など
- 身分証明書

衣類

- 下着
- タオル
- 寝袋
- 雨具
- 手袋
- 靴
- 日用品
- ナイフ、缶切り
- 鍋や電鍋
- 懐中電灯
- ラジオ
- 電池
- ロープ
- マッチライター
- 使い捨てのカイロ
- ティッシュなど
- 筆記用具
- ごみ袋
- その他
- 防災頭巾やヘルメット
- 多量の現金など
- 地図

非常用

- 救急医薬品
- 常備薬
- マスク
- 紙おむつ
- 生理用品
- 貴重品、お金
- 現金(小銭も)
- 現金通帳など
- 健康保険証など
- 身分証明書

大きな災害をもたらす台風や大雨、雪崩などの気象情報や自治体が出す避難情報を正しく入手して、災害から大切な命を守りましょう。注意報や警報などの気象情報はテレビやラジオから、土砂災害警戒情報や避難勧告などは「緊急速報メール」や「生駒市緊急・災害情報メール」(登録制メール)で確認しましょう。台風や大雨に備えて家庭での災害への備えをもう一度確認しましょう。

1. 家の外への備え

大雨が降る前、風が強くなる前にいきましょう。

- 窓や戸締りもしっかりとカギをかけ、必要に応じて閉鎖する。
- 雨漏りや排水口は確認しておいておく。

2. 家の中の備え

●非常用品の確認

- ・懐中電灯・携帯ラジオ(乾電池)
- ・救急医薬品・衣類・非常用食料
- ・携帯ホンベコンロ・貴重品など

●室内からの安全対策

飛散防止フィルムがないガラスに貼る。万一の飛来物の飛び込みで備えてカーテンやブラインドを閉めておく。

●水の確保

雨水に備えて飲料水を確保

3. 避難場所の確認など

- 学校やコミュニティセンターなど、避難場所として指定されている避難所の避難経路を確認しておく。
- 音階から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、荷手を使えるようにしておく。

生駒市緊急・災害情報メールに登録を!

生駒市ホームページの登録が必要となります。
※登録メールの指定をされている方は「city.komaki.jp」が確認できるような設定をしておく必要があります。

2017年1月1日 №18 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつなごう 地域のきずな こんにちはわ

244名が参加!
今年も盛んに総合防災訓練



2017年1月1日 №18 発行 やまびこネットワーク

今年も盛んに! 総合防災訓練



2017年1月1日 №18 発行 やまびこネットワーク

毎日の「あいさつ」は「防災訓練」!



冬の子どもフェスタ

2019年3月15日 №25 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつながる地域のきずな **こんにちわ 雪がやってきた!!**
 ~365分の1日の奇跡?~

3日前まで開催を危ぶまれていた「雪あそび」—なんとその前夜、「奇跡」が起こりました。これまで雪が少なかった雪の調達先、滋賀県長浜市余呉に雪が降りました。

加えて、当日は「小春日和」のような好天に恵まれ、参加者は二会場(幼稚園・小学校)で570名という大盛況でした。そのために、開始時間を1時間早めると共に、終わりの時刻も30分延長しました。

子どもたちは、濡れた衣服も気にせず無心に雪と遊んでいました。



2017年3月1日 №19 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつながる地域のきずな **こんにちわ**

雪あそび&軽スポーツ体験
集まった! 楽しんだ! 716名

本島に沢山の方が来てくださいましたね。雪の上で笑顔の花がいっぱいでした。それと、地域の方の団結と繋がりを感じました。(ファインコート 在住、女性)

これは、1月29日に実施した「雪あそび&軽スポーツ体験」に参加下さった方がお寄せくださった感想です。

当日は、716名(園小546名、高小170名)の参加者を得て盛況会に終えることができました。この日には、ボランティアとして参加くださった約50名のご協力があったことを感謝と共にお知らせいたしておきます。本当にありがとうございました。

雪あそび
 今日学校でダンスカー4台ぶん
 つくりました。ほらあなな
 りました。すべりだいもつく
 りました。とてもさむかった
 です。あしも、おなかも、せな
 か、からだぜんたいさむかった
 です。家に帰ったらすぐにきか
 きました。とってもいいあたた
 かいです。また来年もいきた
 いと思っています。

1月29日(日) 2-1



2020年4月1日 №28 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつながる地域のきずな **こんにちわ**

「おっちゃん! 雪遊びが中止になったのは、地球が“ぬく”なったからやなあ…」

これは、冬の子どもフェスタが、雪不足のため中止になった翌々日、低学年の子どもたちが話しかけてきた言葉です。

1月、地球温暖化のためでしょうか、近畿地方の豪雪地帯のひとつ、長浜市余呉付近でさえも全く雪が降らず積雪ゼロの日が続いていました。

何とか当日(1/26)までには雪が降ってほしいと祈っていましたが、前々日になってこの願いも叶わず、残念ながら今年の「冬の子どもフェスタ」は中止せざるを得なくなりました。

しかし、学校園ではこの「残念さ」を地球温暖化(温暖化)の変化を学ぶ一つの機会となるよう学年・年齢に応じて話して下さいました。加えて、地域の方々にもこのことを総合防災訓練の際に話しました。

結果、楽しみにしていたイベントは開催できませんでしたが、広く環境問題を学ぶ「きっかけ」になったものと思っています。

来年度は、少し時期を遅らせ開催できないか考えていきたいと思います。

雪あそびに夢中



軽スポーツ体験コーナー
 20t車からの雪あらし

市長さんのあいさつ
 あたたかいコーヒーの販売

2020年4月1日 №28 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつながる地域のきずな **こんにちわ**

「おっちゃん! 雪遊びが中止になったのは、地球が“ぬく”なったからやなあ…」

これは、冬の子どもフェスタが、雪不足のため中止になった翌々日、低学年の子どもたちが話しかけてきた言葉です。

1月、地球温暖化のためでしょうか、近畿地方の豪雪地帯のひとつ、長浜市余呉付近でさえも全く雪が降らず積雪ゼロの日が続いていました。

何とか当日(1/26)までには雪が降ってほしいと祈っていましたが、前々日になってこの願いも叶わず、残念ながら今年の「冬の子どもフェスタ」は中止せざるを得なくなりました。

しかし、学校園ではこの「残念さ」を地球温暖化(温暖化)の変化を学ぶ一つの機会となるよう学年・年齢に応じて話して下さいました。加えて、地域の方々にもこのことを総合防災訓練の際に話しました。

結果、楽しみにしていたイベントは開催できませんでしたが、広く環境問題を学ぶ「きっかけ」になったものと思っています。

来年度は、少し時期を遅らせ開催できないか考えていきたいと思います。




2023年4月1日 №37 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつながる地域のきずな **こんにちわ**

ゆきくれて、敦賀市ありがとう
 ~感謝の気持ちを込めて楽しんだ「冬の子どもフェスタ」~

・めっちゃたのしかった。またやりたい。ありがとう。
 ・最高! 楽しかった、ありがとう。
 ・福井の雪、38歳、楽しめました。
 ・ババに、ゆきかけたかった。
 ・グラウンドゴルフ、楽しかった。
 ・笑顔いっぱい良かった。
 ・来年も楽しみにしています。
 ・ゆきでいっぱいあそんでたのしかった。
 ・ゆきくれてありがとう。
 ・生駒市はあまり雪がふらないからあそべてよかった。
 (参加者の感想より)

2月5日(日) 雪不足やコロナ感染予防のため実施できなかった「冬の子どもフェスタ」を4年ぶりに開催しました。本年度は、雪の調達地を姉妹都市「敦賀市」に変更しての最初の開催でした。その為に、予想せぬ事態に戸惑う場面が多々ありましたが、敦賀市さんの全面的な協力を得て無事開催することができました。

敦賀市長・淵上隆信様よりメッセージ

この度敦賀市より約50トンの雪を提供させていただきました。令和3年11月の生駒市さんと敦賀市提携から初の試みでした。冬の子どもフェスタ、当日はたくさんのご家族などが敦賀市の雪で遊んで頂いたことをお伺いし大変うれしく感じています。

今後はぜひ、生駒市の皆さんに、敦賀市にお越しただいて、降ったそのままの雪で遊んでいただけたことをご期待申し上げ、敦賀市民一同よりお待ちしております。



好天にめぐまれた冬の子どもフェスタ

グラウンドゴルフ

感想ボードに記入する子どもたち

〈一学期のニコニコあいさつデー〉
 4月12日(水) 5月8日(月) 6月8日(木) 7月10日(月)
 ※集団下校: 7月12、13、14、18日(4日間) 子どもたちは、午後1時15分に下校します。

2023年4月1日 №37 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつながる地域のきずな **こんにちわ**

ゆきくれて、敦賀市ありがとう
 ~感謝の気持ちを込めて楽しんだ「冬の子どもフェスタ」~

・めっちゃたのしかった。またやりたい。ありがとう。
 ・最高! 楽しかった、ありがとう。
 ・福井の雪、38歳、楽しめました。
 ・ババに、ゆきかけたかった。
 ・グラウンドゴルフ、楽しかった。
 ・笑顔いっぱい良かった。
 ・来年も楽しみにしています。
 ・ゆきでいっぱいあそんでたのしかった。
 ・ゆきくれてありがとう。
 ・生駒市はあまり雪がふらないからあそべてよかった。
 (参加者の感想より)

2月5日(日) 雪不足やコロナ感染予防のため実施できなかった「冬の子どもフェスタ」を4年ぶりに開催しました。本年度は、雪の調達地を姉妹都市「敦賀市」に変更しての最初の開催でした。その為に、予想せぬ事態に戸惑う場面が多々ありましたが、敦賀市さんの全面的な協力を得て無事開催することができました。

敦賀市長・淵上隆信様よりメッセージ

この度敦賀市より約50トンの雪を提供させていただきました。令和3年11月の生駒市さんと敦賀市提携から初の試みでした。冬の子どもフェスタ、当日はたくさんのご家族などが敦賀市の雪で遊んで頂いたことをお伺いし大変うれしく感じています。

今後はぜひ、生駒市の皆さんに、敦賀市にお越しただいて、降ったそのままの雪で遊んでいただけたことをご期待申し上げ、敦賀市民一同よりお待ちしております。




2024年4月1日 №40 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつながる地域のきずな **こんにちわ**

冬の子どもフェスタ
集った・楽しんだ、800名余名!

暖冬の折、当日ぎりぎりまで、メインの「雪」が届くのか心配しましたが、友好都市敦賀市関係者の献身的なご尽力によって、約100トンの雪を調達することが出来ました。

会場は、雪の他に、例年の軽スポーツ体験コーナーに加えて、今年、防災の「炊き出し訓練」による豚汁の提供、それに、生駒市建設協会による「重機の試乗体験」が新しく加わりました。共に大好評で、参加者約800名の歓声が運動場いっぱいに響き合っていました。

遊び終えた子どもたちは、メッセージボードに感想を書き込みながら名残惜しそうに雪を眺めている姿が印象的でした。

雪あそび

子どもの熱気と歓声で雪も溶けそう!

たのしいねー
 わたしは、今日、友達と雪あそびに、さんさんしました。友達と雪あそびは、とっても楽しいです。雪が溶けてしまいましたが、また雪が降ってほしいです。来年は、雪あそびも楽しみたいです。



2024年4月1日 №40 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつながる地域のきずな **こんにちわ**

冬の子どもフェスタ
集った・楽しんだ、800名余名!

暖冬の折、当日ぎりぎりまで、メインの「雪」が届くのか心配しましたが、友好都市敦賀市関係者の献身的なご尽力によって、約100トンの雪を調達することが出来ました。

会場は、雪の他に、例年の軽スポーツ体験コーナーに加えて、今年、防災の「炊き出し訓練」による豚汁の提供、それに、生駒市建設協会による「重機の試乗体験」が新しく加わりました。共に大好評で、参加者約800名の歓声が運動場いっぱいに響き合っていました。

遊び終えた子どもたちは、メッセージボードに感想を書き込みながら名残惜しそうに雪を眺めている姿が印象的でした。



子育て・まちづくり

生き抜く力を育むために ～どんな子どもを育てるか、共通理解を～

本年度より、地域に開かれた教育課程の理念のもとに、学校を核として地域全体が共通の目標をもって取り組む「コミュニティスクール」制度がスタートしました。

11月8日、各分小学校でこの制度を幅広く理解を深めるために「コミュニティスクールを考える」と題してワークショップを開催しました。

当日は、53名の参加のもと、まずは、各分小学校原校長先生、近畿大学久教授、県教育委員会田先生から「コミュニティスクール」について、県下の子や意見、ねらいについて、それぞれの立場から問題提起をしていただきました。

それを受けて、参加者が質問や地域の取組、子どもの様子を発表し終始和やかな雰囲気の中で終えることができました。

コロナ禍の中、会場設置等厳しい条件下での開催となりましたが、意見交流を通して「何を教えるかではなく、どんな子どもを育てるか、そのためには、地域と学校の目標・ビジョンの共有と連携が大切である」ことを共通理解できたのではないかと思います。

今後は、「コミュニティスクール」制度を形骸化させないために、やまびこネットワークがどんな関わりができるのか、その役割を考えていきたいと思います。



やまびこネットワーク 新たなステージへ!

「手をつなぐ地域の中で子育て」「私たちは決していじめを許さない!」……こんなキャッチフレーズのもと、長年にわたって園児・児童・生徒の健全育成に大きな役割を果たしてきた「生駒南・大瀬中学校区地域ぐるみ推進協議会」(以下、地域ぐるみ)が生まれ変わることになりました。

次年度からは、「地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を積極的に推進する」ことを目的に新しい組織が各小学校区(原則)に立ち上げられ「地域学校協働活動」がスタートします。

これは15年前「やまびこネットワーク」誕生の原点となった理念と重なります。今後は、「地域ぐるみ」が積み上げてきた成果と課題を踏まえ、新しい組織と「連携・協働」をより密にしながら、「新たなステージ」に向かって諸活動を推進していききたいと思います。

「まちづくりワークショップ」&「健康教室」開催

去る、2019年11月「まちづくりワークショップ」と「健康教室」を開催しました。

ワークショップでは、少子高齢化が加速的に進む中、これからのまちづくりについて建設的な意見が交わされました。今後は、話し合われた内容の実現に向けて、その具体的な行動(推進)計画を考えていきたいと思います。

ワークショップ終了後は、生駒市健康づくり推進委員会さん手作りの「生駒の郷土料理(即子・芋ぼた)」や「健康づくり」のための料理(人参とじゃこのごはん)に舌鼓を打ちながら、ワークショップの反省と日常の生活の大切さを学び合いました。



一学期の ニコニコあいさつデー

■4月14日火 ■5月7日木 ■6月9日火 ■7月7日火
■7月:下校指導 13日月 14日火 15日水 16日木
を予定しています。

諸活動のようす

落ち葉で、秋を体感保育

本年度も、さつき台第一公園の落ち葉を會津巻分・ちどり保育園に届けました。

落ち葉は、さつき台自治会が清掃活動で集めたものを、かざぐるまさんの協力を得て、両園に届けました。なお、落ち葉集めには、賛同したさつき台こども会の皆さんも協力してくれました。

落ち葉遊び終了後は、再度かざぐるまさんの車で園へ運ばれ、腐葉土に生まれ変わります。春には、子ども会がその畑でさつまいも植え……そして収穫……。

作業に関わって下さった大人や子どもたちは勿論のこと、楽しく遊んだ園児たちも、こうした落ち葉の一生から自然の恵みを体験を通して学びました。



會津巻分保育園

「ふわふわの、布団みたい」
「おちばって、あたたいかんだねー」
「ころんて、おちばが守ってくれるからいたくない!」

「せんせい、おひるねしたいね」
「こたつみたい」
「わたしは、おふとんみたい」



ちどり保育園



子育て支援活動

さつまいも掘り

各分子ども会の皆さん(子ども23名・保護者6名)によるさつまいも掘り、10月6日実施しました。

大きないもが土から顔を出すと大きな歓声が上がっていました。雨、当日は近畿大学の教授1名、学生6名、それにかざぐるまのスタッフ8名が協力下さいました。

手づくり「蒸気機関車試乗体験」

香は、各分ちどり保育園、秋は、各分あいづ保育園と各分幼稚園の園児たちが、手作りの蒸気機関車試乗体験を楽しみました。

この事業は、さつき台在住のKさんが全て手作りで作られた蒸気機関車に園児を乗せ、実際に石炭を焚いて走らせて下さるイベントを「やまびこネットワーク」が企画・実施しているものです。

園児たちの「めっちゃ、カッコイイ!」という声が秋田団地の森に大きく広がっていました。



高齢者福祉支援活動

グラウンドゴルフ大会

11月7日、北山グラウンドに於いて第三回グラウンドゴルフ大会を実施しました。当日は、小春日和を思わせる好天に恵まれ49名の参加者が日頃の「実力」を競い合いました。

開催・運営に当たっては、各分小学校校区のグラウンドゴルフクラブ関係者が事前の準備から、当日の運営まで全面的にサポートして下さいました。



第5回まちづくりワークショップを開催 ～ポスト・コロナに向け今後の活動のあり方を考える～

11月3日(祝)に各分小学校の体育館において、第5回まちづくりワークショップを開催しました。今回のワークショップでは、中川隆雄先生(近畿大学名誉教授)をお招きして「ポスト・コロナのまちづくりを考えよう」をテーマに、これまでの「やまびこネットワーク」の取組を振り返りながら、今後のまちづくりの課題について考える機会となりました。

当日は、市長、教育長の出席のもと、約50人の方々に参加頂き、活発な意見交換が行われました。

まず、清水代表よりこれまでの経緯を報告し「熊手川事件」をきっかけとして子ども達の安全安心を確保するために「あいさつ運動」を開始し、その後「やまびこネットワーク」を設立、平成28年には生駒市で第一回の市民自治協議会に認定され、活動の場を広げた経緯と実績について報告されました。

その後、中川先生から「現代型のコミュニティ組織が必要となる理由」と題してご講演頂きました。その要旨は次の通りです。

- 災害が発生した当初は行政の動きが止まり、地域の方が必要となる。しかし、一時的な助けを待っていた社会が、高齢化が進み、経済的な余裕のない高齢者が増えることによって地域の担い手が減り、地域の力が弱くなってきている。また、昨今は、コロナ禍で様々な活動が停止することにより、人間同士の距離が広がってしまっており、「次に動くのか?」といった不安もある。
- 住民自治のしっかりとした地域では、安全性が高まること、行政コストが低下する、あいさつ運動は地域の防衛力の向上をはじめ、全ての活動の基礎となる。
- 福祉、消防、教育、防災、インフラ整備など、あらゆる分野の事業が地域でできる。役割の役割は大規模な事業と法制度に基づく事業だけでなく、逆に、ひとり暮らしの世帯への声かけなど、地域でしかできない事業もある。既に、生駒市朝来市では、福祉サービス、産業・ビジネス、生涯学習、都市・農村交流、コミュニティサービス、子ども・高齢者の居場所づくりなどの活動を行っている地域自治協議会が見られる。このような、多様な住民自治組織づくりの流れが出ている。
- これまでの地域の担い手は、時間的余裕、経済的余裕、健康、社会関係、家族といった全ての条件に恵まれた人であった。しかし、地域社会が変化する中で、これらは全ての条件に恵まれない人でも担い手になれるよう、ハンディキャップを補い合える環境整備が必要となる。
- これからのまちづくりを考える際のポイントは次の通り。
 - ▼何でやることを事前に考える。既に様々な分野の関係者が存在するが、地域で何が足りないのか、何ができるかを考える。
 - ▼全ての層を対象とした事業。特に女性層や若い層(働き盛りの層)が参加できる事業を考える。特に、子どもを対象としたイベントが若い層を巻き込める可能性がある。
 - ▼コミュニティスクールを進めることは生涯学習を地域で展開することになる。地域の課題を抽出し、その解決策を検討し、解決に必要な技術やノウハウを学習し、実践に繋げることが大切である。このような活動を支えるための民間団体やボランティアの存在が重要。
 - ▼地区(自治会)の特性(違い)を踏まえた事業を考える。そのために各地区(自治会)の代表者が組織に参加していなければならない。
 - ▼安全・安心が最も重要であり、犯罪、災害への対応を優先的に考える。
 - ▼今後、生涯学習(人権の学習を含む)の充実、格差社会の解消、コミュニティ(自治会)とアソシエーション(市民自治協議会)でのルールの違いに配慮した取組などが重要である。



2018年12月15日 No.24 発行 やまびこネットワーク

笑顔のあとに強い絆!

今年の夏は、「異常気象」でした。しかし、やまびこネットワークは、みなさんに支えられて、笑顔いっぱい! 楽しさいっぱい! 活動することができました。

さつまいも掘り

5月、各分子ども会が近畿大学農学部の畑に植えつけたが、今年も「いのしし」に食べられてしまいました。しかし、かざぐるまさんのご厚意で高山の園でもいも掘りをさせていただきます。感謝! 感謝!

グラウンドゴルフ大会

10月、北山グラウンドで実施しました。好天に恵まれ、40名のみなさんが「熱戦」を繰り広げました。楽しさいっぱい! 活動することができました。

「手作りの蒸気機関車」試乗体験

5月はちどり保育園児が、11月は各分幼稚園児が、地元Kさん手作りの蒸気機関車に試乗させていただきました。

「これからのまちづくり」ワークショップ

11月、58名の参加者のもと、「ワークショップ」と「健康教室」を開催しました。

2017年12月1日 No.21 発行 やまびこネットワーク

あいさつでつなごう 地域のきずな こんにちは

いのししにたべられたけど 「さつまいもほり」たのしかったよ

5月、本年度の新しい子ども向けの事業として、近畿大学農学部の畑に、約100本のさつまいもを植え付けました。しかし、残念なことに収穫前になって、「いのしし」に全部食べられてしまいました。収穫を楽しみにしていた、子どもたちにとっては大きなショックでしたが、かざぐるまさんのご厚意により、10月に別の畑で収穫(いもほり)させていただきます。

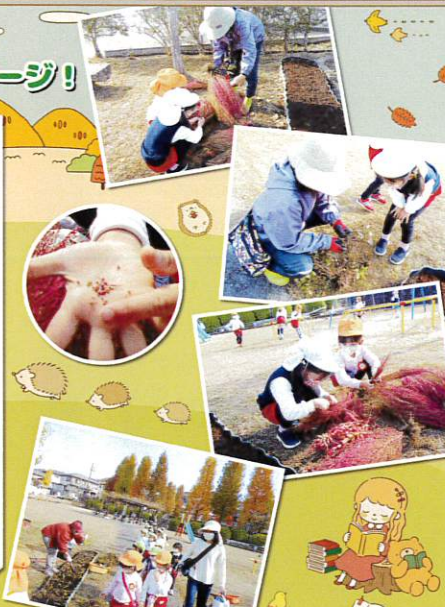
当日は、さつき台1丁目、2丁目の子ども会より25名がいもほりを楽しみました。来年度も、今年の反省を踏まえながら、農作業体験を通して命の大切さを学ぶ機会にしたいと思っています。



地域とつながる子どもたち

出会いの後に……公園の花壇からメッセージ!

11月の下旬、公園の花壇で子どもたちは元気な姿を見せてくれました。公園の花壇は、子どもたちが遊ぶ場所でもあります。子どもたちは、花壇の周りには、いろいろな花が咲いています。子どもたちは、花壇の周りには、いろいろな花が咲いています。子どもたちは、花壇の周りには、いろいろな花が咲いています。



子どもたちは、花壇の周りには、いろいろな花が咲いています。子どもたちは、花壇の周りには、いろいろな花が咲いています。子どもたちは、花壇の周りには、いろいろな花が咲いています。

きんぎょ幼稚園年少組(3歳)さんが感謝のポスター!

先日、年少組がきんぎょ幼稚園に参観に行きました。子どもたちは、きんぎょ幼稚園の先生や子どもたちと楽しく交流しました。子どもたちは、きんぎょ幼稚園の先生や子どもたちと楽しく交流しました。



子どもたちは、きんぎょ幼稚園の先生や子どもたちと楽しく交流しました。子どもたちは、きんぎょ幼稚園の先生や子どもたちと楽しく交流しました。

2018年3月号 号外

きんぎょ幼稚園

地域とつながる小学校・幼稚園・保育園をめざして



子どもたちは、きんぎょ幼稚園の先生や子どもたちと楽しく交流しました。子どもたちは、きんぎょ幼稚園の先生や子どもたちと楽しく交流しました。

笑顔であいさつ、楽しい一日!

4月から、きんぎょ幼稚園の園児が、毎月8日の「ニコニコあいさつデー」に参加してくれています。子どもも大人も、朝のあいさつから一日の活動が始まります。

本年度の「ニコニコあいさつデー」

- 4月6日(本年度始業式)
- 5月8日(月)
- 6月8日(木)
- 7月8日(街頭啓発日)
- 9月8日(金)
- 11月8日(水)
- 12月8日(金)
- 1月9日(火)
- 1月10日(水)
- 2月8日(木)
- 3月8日(木)



※街頭啓発日(7/8)ティッシュ配布 5:00~6:00 中村屋・しまむら・一分駅南

表彰状・感謝状

きんぎょ小学校地域学校協働活動

文部科学大臣・奈良県教育委員会教育長より表彰状

きんぎょ小学校区の地域と学校が一体となった「地域学校協働活動」が高評価され、文部科学大臣及び奈良県教育委員会教育長より表彰状が授与されました。



文部科学大臣



奈良県教育委員会教育長

奈良県の表彰式は去る2月22日、きんぎょ小学校で行われ、奈良県教育委員会より表彰状が授与されました。一方、文部科学省からの表彰式は同月25日、文部科学省庁舎ときんぎょ小学校をオンラインで、表彰式と「多様なつながりによる地域づくり」をテーマにワークショップが開催されました。ワークショップでは、広島県大竹市、新潟県新潟市、秋田県能代市と日頃の活動を交流しました。短時間でしたが、三市の先進的な取組をお聞きし多くのことを学んだ実りあるワークショップでした。

今回の栄えある「ダブル受賞」は、やまびこネットワークが、今日まで一步一步積み上げてきた成果の一端がその礎になっていることを大変うれしく思っています。

これからも、この喜びを更なる飛躍の糧に今日の教育課題に寄り添い、子育て支援とつながりのある地域づくりにより一層寄与していきたいと思ひます。



オンラインによる表彰式 文部科学省



きんぎょ小学校

感謝状をいただきました

昨年11月7日に開催されました「市政50周年記念式典」において、やまびこネットワークが、市政のこれまでの発展を支えてきた団体として感謝状をいただきました。これまでの諸活動を支えてくださった多くの皆様方に厚くお礼申し上げます。



やまびこネットワーク：主活動をふりかえって（中間総括から）

◎ 諸活動推進に当たって常に基本（原点）として大切にしてきたこと

共感を行動へ ⇒ 共感が行動の原動力

＜先ず、ひとり一人の感動を大切に＞ ＜感動を共有し合って組織化へ＞

1、【ニコニコあいさつデー：あいさつでつなごう地域のきずな】

＜あゆみと現状＞

当初は、各組織（地域）がバラバラで活動。その後、毎月第一火曜日を「統一行動日」と命名して活動を続けてきました。

しかし、「毎月第一火曜日が不定期で分かりづらい。もっと分かりやすく」との声に押されて、毎月8日に変更したのを機会に、新しいネーミングを壱分小学校児童会に依頼しました。

結果、児童が考えてくれたのは「ニコニコあいさつデー」でした。そして、現在に至っています。

また、夏休みには、校区商業施設（コンビニ）等に出向いて、住民を対象にした啓発活動を実施していましたが、現在は中止しています。

活動日にはテッシュを配布していたが、現在はテッシュの代わり「こころ」を届けようと、あいさつの後に一言付け加える「あいさつプラスワン（あいさつ＋1）」を提唱し今日に至っています。

＜成果と課題＞

・市民の代表的な声から

- ① 私は、夕方いつも散歩していますが、いえの近くまで帰ってきて「ここはあいさつ通りです」の看板をみるととても温かくホットします。あいさつはいいですね。
- ② 今日は、子どもたちは「あいさつのシャワー」を浴びて元気に登園です。
- ③ 子どものあいさつ、声が大きくなりましたよ、でも大人がねえ……。

・あいさつを「手段」にまちづくりを

コロナ禍、三密の暮らしが今しばらく続きそうです。『顔にマスクを！でも、こころにマスクは要らない！』

加えて、進む少子高齢化社会、異常気象に伴う自然災害、コロナとの「つきあい」等々、今まで経験したことのない「異常」が「正常」になる社会……。今こそ、安心・安全のまちづくりをあいさつで、そして、つながりのある社会をめざしていきます。

2、【冬の子どもフェスタ】

＜あゆみと現状＞

当初は、近畿の豪雪地帯、琵琶湖の北「余呉」から、前日に降った新雪を大型トラックに積んで一路子どもたちが待ちわびる壱分小学校へ……そこから一部を小型トラックで壱分幼稚園へ……。

この壮大なプロジェクト（活動）は、学校園は勿論のこと多くの方々のご理解と協力の基に成りたっています。

終了後、雪が解けるまで時間がかかるにもかかわらず、運動場を提供して下さる学校の協力、無料で小型トラック・重機を貸して下さり、そして操作して下さるHさん、深夜トラックを走らせて早朝現地へ、そして昼過ぎ壱分小学校へ運んで下さるT興業、休日にも拘わらず、現地で待ち受け新雪の調達・準備をして下さる長浜市余呉支所のみなさんのご尽力……。

また、当日は子ども安全を守って下さる「ソクセキ」のボランティア、温かな飲み物を提供して下さるかざぐるま・民生委員児童委員のみなさん、並行して、運動場で遊びを指導して下さる生駒市体育指導員の方々……みんな、みんな。本当に感謝・感謝の一言です。

現在、雪の調達地を友好都市敦賀市に変更しましたが、校区地域の冬の風物詩として内容も充実し発展を続けています。

＜成果と課題＞

参加者が校区外は勿論のこと、遠くは大阪・京都からも。理由は、離れて暮らす「お孫さんの」呼び寄せ、及び地元生駒市は新聞報道や口コミ。多い年度は600名を超える参加者（平均500名）があります。ちなみに、平成5年度は800余名の参加がありました。

特記したいことは、前述のように当日保護者として参加下さった方に見守りボランティアグループを依頼していることです。ねらいは、見知らない方同士が即席の役割をすることを通して面識を広め、そして、明日からのPTA活動への積極的な参画機運の醸成を目指しています。

最大の成果は、後日、私立保育園児が壱分幼稚園を訪問し残った雪で交流。この取組は保育を点から面に拡げる、即ち、公・私保育の交流を始めるきっかけとなったこと。後日、この取り組みは、全国初として文部科学省で報告・発表し高評をうけました。この取り組みは、日常的に現在も続いています。

今後は、冬季、インフルエンザやコロナと付き合いながら、また、進む温暖化の中懸念される雪不足等々の諸条件を克服してどう実施するか、課題は大きいものがあります。

3、【グラウンドゴルフ大会】

＜あゆみと現状＞

多数のグラウンドゴルフ愛好者が、日頃グループを組織して余暇を楽しむ一方、校区や県・市が主催する大きな大会にも積極的に参加して下さっています。

その一方で始めたくても一歩を踏み出せず躊躇されている方々も又多おられます。本大会は、それらの方々に焦点をあて、初心者が安心して参加できる大会として開催しています。

＜成果と課題＞

過去三回毎年50名前後が参加。最初の大会の優勝者は全くの初心者。初期の目的が果たされ関係者一同感激しました。

高齢者主体から住民全体の大会へ、より多くがより面識を高め合う大会へ、その展望と筋道は検証しながら発展させていきます。

4、【総合防災訓練】

＜あゆみと現状＞

やまびこネットワークが、「生駒市市民自治協議会」第一号として認定していただく大きなきっかけとなった活動（事業）です。

過去4回の訓練ないようは、天ぷら油に入った火の消火・バケツリレー・毛布で担架づくり・紙でスリッパづくり・プライベートルームづくり・簡易トイレの組み立て・発電機の操作・アルファ米の調理方法と試食・人工呼吸方法等々多種多様。他に、消防車による放水訓練、災害経験者が聞き取り（講演会）、健康教育推進委員（PTAを含む）さん調理の豚汁の試食等々を実施しました。いずれも大好評で毎回300名弱の参加がありました。

しかし、自治会避難所の指定が変更されたのをきっかけに、統一して同じ目的での実施が困難になりました。今後は、避難所が分散する中、ネットワークとして共通課題を見つけ出しどうするのか大きな課題です。

＜成果と課題＞

訓練内容の習得に加えて、避難場所及びその道筋の安全確認をしてきました。災害は突然やってきます。その為に備える日常の防災意識の大切さを訴え大きな成果を得てきました。

しかし、いつ発生するかわからない災害……発生時に習得した訓練内容が活かせるか、又避難所開設等の作業がスムーズにできるだろうか、訓練で出来ても実際の場面ではどうだろうか……課題はつづきます。

5、【まちづくりワークショップ&健康教室】

<あゆみと現状>

日頃の諸活動を点検総括し次年度に活かせるために開催しました。いずれも、現状理解を土台にこれからのまちづくり課題を子育て中心に討議。参加者の多くは‘若い’方、そのため視点が新鮮で有意義な未来にむけた論議が展開されました。

なかでも、コロナ禍の中、学校に導入された「コミュニティスクール」について、講師（3名）と対面する形で開催したワークショップは大きな意義がありました。

終了後は、健康づくり推進員による、郷土料理の紹介など心温まる料理に舌鼓を打ちながら歓談の輪が広がっていました。

<成果と課題>

前述の「コミュニティスクール」考えるワークショップが、コロナ禍様々な条件を克服して開催できたことは大きな成果でした。

討議を通して、「子どもたちに何を教えるかではなく、どんな子どもを育てるか」が大切であり、その為に地域の果たす役割は何かを学びました。

6、【手作り蒸気機関車試乗体験】 → <現在中止>

<あゆみと現状>

校区に在住のKさん。全て手作りで蒸気機関車を製作されていました。当初は、自分の庭で走らせ楽しんでおりましたが、数年前に北山グラウンド東側近くの土地を確保し本格的なレールを敷き、数人の子ども数が乗車可能な客車を整備されました。（ここまで全て手作り）

この場所は、秋になると周辺は‘どんぐりや色づいた落ち葉’が多……。保・幼稚園児にとって秋の体感学習を兼ねた小遠足には絶好の場所です。こうした保育環境から、Kさんにお越し、手作り機関車試乗体験が実現しました。

<成果と課題>

園児は、こんな小さな機関車が実際の石炭を焚いて動く、しかも、数人を乗せて……。この驚きと感動が園児の将来への希望と夢に繋がってくれば……。と願わずにはいられませんでした。

現在は、残念ながら、所有者の健康状態を考え中止となっています。

7、【落ち葉で秋を体感】

<あゆみと現状>

さつき台第一公園で遊ぶ子どもの実態をヒントに始めた事業です。さつき台自治会が集めた膨大なかえでの落ち葉を保育園に届け、園児に‘匂いと手触り’から秋を体感していただくことを目的に暗中模索の中実施しました。

<成果と課題>

これほど喜ばれるとは想像外、嬉しい悲鳴……。周囲も子どもが落ち葉の中に頭から飛び込む姿に怪我をしないか心配をよそに大興奮でした。

保育終了後は回収し、かざぐるまさんの農作業場で腐葉土に、そこで育まれた土地で育った野菜は子ども食堂へ、同時に子ども会加入の子どもたちが、春にさつまいもの植え付け、秋に収穫体験（落ち葉の輪廻を体験）この一年間に及ぶ取り組みは、正に体験を通した『SDGs探求学習』の先取でした？～自画自賛～

8、【広報紙・「こんにわ」の発行】

<あゆみと現状>

やまびこネットワークの広報紙「こんにちわ」は、年3～4回会を目標に発行。内容は組織の連絡やお知らせの他に、活動を通した地域・子どもたちの実際の姿とその後の変容及び地域住民の自主的な活動を紹介してきました。

年3～4回発行し壱分小学校区全家庭に自治会組織を通じて配布しています。

さて、「みなさんは、やまびこネットワークのキャッチフレーズ『こんにちわ』の標記が間違っているのをご存知ですか？……そうです、正しくは『こんにちは』です。では、なぜ、間違った表記にしたのでしょうか」

実は、この表記を巡って、「は・わ・輪」が候補に挙がって約1時間…喧々譁の討議。

「あいさつの輪が広がるイメージで漢字で「輪」、それは賛成、でも、‘こんにち’は平仮名‘は’だけ漢字では、全体のトーンとしてすっきりしない。では、「わ」にしよう。しかし子ども（大人）に間違いを教えることになる。教育上ふさわしくない。

そこで、PTA保護者からの鶴の一声、「……もし、間違っていると指摘があれば、それを、プラスに考えよう。『よくみつけたね、そう、正しくは『は』だね。それを『わ』としたのは、あいさつが『輪』のように広まってほしいとの思いを込めて『わ』にしたんだよ。間違いに気づいたお友だちが周囲にいたら、そう説明してあげてね……」と説明したげたらいいのでは……。」

みなさんは、お気づきになっていましたか？

<成果と課題>

過去、様々な活動の実際とそこから生まれた感動が行動に繋がった事実を紹介してきました。結果、それを契機に子どもの登下校を中心に安全指導をして下さるボランティアの方々が増えました。

これからも、ネットワーク諸活動のようすや街の片隅で黙々と活動して下さっている自主活動を主記事としてに紹介する予定です。

これからも、感動から共感へ、そして、組織化・行動へ、この‘手助け’となる機関紙「こんにわ」を目指していきます。

9、【共催事業・いこいこまつり】

<あゆみと現状>

壱分小学校区は勿論のこと、広く生駒市全体を視野に‘集って、笑って、つながって’をテーマに始まった「いこいこまつり……」。

当初に比べて地元生徒や園児の出演が増え、地元地域の特色を活かした事業として、今ではなくてはならない祭典として発展してきました。これからも、共催組織の一つとしてその役割を果たして行きたいと思います。

<成果と課題>

校区自治会が独自で開催していた夏祭りが、人員や予算の関係等で消滅が進む中、それに代わるものとしてこの祭りの持つ意義の大きさを実感しています。

これからも、共催組織の一つとしてその役割を果たしていきたいと思います。

10、【全体まとめ】

「今までは、子どもを守ることを中心に考えてきた、しかし、これからは、学校園との連携をより密にして地域で子どもをどう育てるかが大切、そのためには地域の教育力を高めなければ……」

これは、楓ちゃん事件後の関係者の「反省と今後の課題」として述べられた言葉です。様々な、意見・提言がある中、やまびこネットワークが選んだのは「あいさつを手段に‘つながりのあるまち’創ろう。そのつながりで子どもを守ろう」でした。この運動に共感し組織加入して下さった団体（組織）は現在16団体。

以来、この運動を側面から支援するために、加盟組織の共通理解のもと様々な活動を推進してきました。（前述参照）

こうした努力が報われたのか、2021年2月には壱分小学校区の地域と学校が一体となった「地域学校協働活動」が全国的に高く評価され「文部科学大臣」及び「奈良県教育委員会教育長」から表彰状が、また11月には生駒市「市政50周年記念式典」において感謝状をいただきました。

振り返れば20年前、子どもを守り育てる、手段として始めたあいさつ運動は、今もつながりのあるまちづくりの原点として、『…決して間違っていなかった…』と‘あいさつ’してくれています。

<やまびこネットワークの誕生から今日まで>

- ・2004年11月 奈良市立富雄北小一年生誘拐殺人事件発生
- ・2005年 6月 生駒市南地区「三者交流会」で「あいさつ運動」の提案
 ⑩三者交流会：壱分小学校区内自治会長、老人クラブ会長、民生委員児童委員の会合
- ・2006年 6月 三者交流会で、各組織が園児・児童・生徒の登下校時に各自の声掛け運動推進の確認
 ⑩例⇒犬の散歩、庭の散水等を上記時間帯に合わせ
 ～ 五年間の「エンドレス時代」～（5年間、上記活動を続ける）
 ＊「三者交流会では、あいさつの大切は十分理解できる。しかし、あいさつは個人の問題であり運動とする必要はない。個人の自主性に任せるべきである」との意見が多数を占める。
- ・2011年 3月 東日本大震災発生 ‘きずな’の大切さ
 「向こう三軒両隣」の大切さを再確認
 6月 「あいさつ運動の推進」と「あいさつ通り」設置を三者交流会で承認
- ・2012年 1月 関西電力へ電柱共架申請
 4月 やまびこネットワーク設立
 (ア) 毎月「第一火曜日を統一行動日」として啓発活動
 (イ) 「生駒市における市民自治協議会設立に向けて」市から説明を受ける
 6月 西日本電信電話株式会社へ電柱掲示申請
- ・2013年 4月 統一行動日を「毎月8日はニコニコあいさつデー」と命名変更（壱分小学校児童会の協力）
- ・2014年 1月 第一回総合防災訓練実施
 4月 「あいさつ+1（ワン）」運動の推進
- ・2015年 1月 第二回総合防災訓練及び雪あそびを同時に実施
- ・2016年 7月 市民自治協議会「やまびこネットワーク」として認定申請予定
- ・2016年 8月 生駒市市民自治協議会「やまびこネットワーク」認定・第一号を受ける
- ・2016年12月 第三回総合防災訓練
- ・2017年 5月 農作業体験（子ども会）
 11月 グラウンドゴルフ大会
- ・2018年 1月 第四回総合防災訓練・冬の子どもフェスタ・ワークショップ
 5月 「手作り蒸気機関車試乗体験」（ちどり保育園）
 農作業体験（子ども会）
 10月 グラウンドゴルフ大会
 11月 「手作り蒸気機関車試乗体験」（壱分幼稚園）
 ワークショップ・健康教室
- ・2019年 1月 第五回総合防災訓練・冬の子どもフェスタ
 5月 農作業体験（子ども会）
 「手作り蒸気機関車試乗体験」（ちどり保育園）
 7月 下校指導（壱分小：個人懇談に伴う一斉下校）
 10月 「手作り蒸気機関車試乗体験」（あいづ保育園）
 11月 グラウンドゴルフ大会
 「手作り蒸気機関車試乗体験」（壱分幼稚園）
 ワークショップ・健康教室
- ・2020年 1月 第六回総合防災訓練（冬の子どもフェスタ中止）
 6月 コロナウイルス感染予防のため、書面表決による総会
 10月 組織代表者・役員による会議
 コロナ禍の中、今後の活動（事業実施）について協議

- 11月 ワークショップ（コミュニティスクールを考える）
 落ち葉で遊ぼう（壱分幼、ちどり・あいづ保育園）
 <コロナ感染予防のため、他の活動は中止>
- ・2021年 2月 文部科学大臣及び奈良県教育委員会より表彰状を受ける
 5月 コロナ感染予防のため、組織代表者のみによる総会
 11月 生駒市「市政50周年記念式典」に於いて感謝状を受ける
 グラウンドゴルフ大会
 落ち葉で秋を体感保育（壱分幼、ちどり・あいづ保育園）
- 12月 ワークショップ（ポスト・コロナに向け今後の活動のあり方を考える）
- ・2022年 5月 コロナ感染予防のため、組織代表者のみによる総会
 いこまSDGsアクションネットワーク会員登録（認定）
 6月 農作業体験（さつまいも植え）壱分東子ども会
 10月 神戸市自治会連絡協議会役員と交流（生駒セイセイビル）
 壱分東子ども会さつま芋収穫
 11月 第七回総合防災訓練&ワークショップ
 落ち葉で体感保育（ちどり・あいづ保育園）
- ・2023年 2月 冬の子どもフェスタ（雪・余呉から敦賀市に変更）
 5月 農作業体験 ファインコート・さつき台子ども会参加
 11月 落ち葉で秋を体験保育 ちどり・あいづ両保育園
 12月 グラウンドゴルフ大会
- ・2024年 1月 能登半島大震災発生
 第八回防災講演会 福井大学敦賀キャンパス 安田仲宏教授
 2月 冬の子どもフェスタ・防災訓練を兼ねて豚汁提供
 5月 農作業体験 さつまいも植え 壱分東子ども会
 11月 落ち葉で体感保育（ちどり・あいづ保育園）
 グラウンドゴルフ大会
- 12月 第九回防災講演会（市役所職員）
- ・2025年 2月 冬のこどもフェスタ





発行
生駒市市民自治協議会
やまびこネットワーク
2025年3月